

バスケット女子日本代表が 五輪出場権を獲得

バスケットボール女子のパリ五輪世界最終予選は、8日から11日までハンガリーのシヨプロンなどで行われ、FIBA（国際バスケットボール連盟）ランキング9位の日本は2勝1敗で出場した4チームの中で1位となり、3大会連続の五輪出場を決めた。日本は男子も出場権を得ており、男女ともに予選を勝ち抜いての出場権獲得は1976年モントリオール大会以来48年ぶりとなった。

日本は第1戦でFIBAランキング4位のスペインに快勝し、第2戦で19位のハンガリーに競り負けたが、最

終戦で同5位のカナダを86-82で下した。各地で同時に行われた他のグループ予選も終了し、出場する12チームが出そろった。出場国は日本のほか、開催国のフランス、五輪7連覇の米国、ベルギー、ナイジェリア、中国、プエルトリコ、オーストラリア、ドイツ、セルビア、スペイン、カナダ。



パリ五輪の出場権を獲得し、喜ぶ日本代表 (AFP時事)



カナダ戦で攻め込む日本の馬瓜エブリン選手 (左) (AFP時事)

池田選手と藤井選手が パリ五輪代表に

競歩日本選手権

陸上のパリ五輪代表選考会を兼ねる日本選手権20キロ競歩は18日、神戸市の六甲アイランド甲南大西側コースで行われ、男子は東京五輪で銀メダルを獲得した池田向希選手が世界歴代3位で大会新記録となる1時間16分51秒で連覇を果たした。女子は藤井菜々子選手が1時間27分59秒の大会新で2年連続3度目の優勝を遂げた。

池田、藤井両選手は、日本陸上競技連盟が定めたパリ五輪派遣設定記録を突破し、ともに条件を満たして2大会連続の五輪代表に決まった。

池田選手は「でき過ぎたくらい思い通りのレースだった。(パリ五輪で)金メダルを目標にやってきたので、ここはあくまでも通過点」と話した。藤井選手は「自己ベストを出すことができ、スタートラインに立てたという思い」と喜んだ。



男子20キロ競歩で大きくリードする池田選手



女子20キロ競歩でゴールを目指す藤井選手

女子は福島選手3連覇、 男子は菱川選手が初優勝

フレイキン全日本選手権

パリ五輪で初めて実施されるフレイキン（フレイクダンス）の第5回全日本選手権最終日は18日、東京・NHKホールで行われた。

女子は福島あゆみ選手（ダンサー名はAYUMI）が決勝で半井彩弥選手（AYANE）を下して3連覇を果たし、男子は菱川一心選手（ISSIN）が決勝で大能寛飛選手（H-RIO）を破って初優勝した。



女子決勝で演技するAYUMI



男子準決勝でShigekix（左）と対戦するISSIN

られる半井重選手は、菱川選手とのハイレベルな戦いについて、「彼はベストに近いものを出してきて、爆発力が際立っていた」と相手評価。「結果に係なく得られたものは大きかった。自分の踊りを見直して、夏に向けて成長していきたい」と話した。

小林選手が2戦連続2位、 51歳葛西選手が最多出場記録を更新

W杯ジャンプ

ノルディックスキのワールドカップ（W杯）ジャンプ男子は17日と18日、札幌市大倉山ジャンプ競技場で個人第19、20戦が行われ、小林陵侑選手は2戦連続で2位となり、今シーズン2勝目はならなかった。



男子個人第20戦で飛躍する葛西選手



男子個人第20戦で飛躍する小林選手

こと。あともうひとつと頑張れ、い聞かせるように話した。51歳の葛西紀明選手は4季ぶりにW杯本戦への出場権を獲得。結果は30位と43位だった。自身が持つ最多出場記録を571試合に伸ばし、最年長出場記録も更新した。